

令和4年度学校関係者評価による評価

令和5年3月23日（水）に学校関係者評価委員会委員を招聘し、学校関係者評価委員会を開催した。本校の学校関係者評価委員は、県看護協会代表・実習施設代表・保護者代表・卒業生代表らに委嘱している。

1. 方法

学校側が評価した自己点検・自己評価結果について、是非を問うと共に、課題と考えられる項目について意見及び質疑を交わした。

2. 結果

大項目基準Ⅰ～Ⅹの評価は、満点4点中平均3.42であり概ね良好の評価であった。なかでも学校運営方針や学校の年間スケジュールの周知で3.2と平均より低値にある。次年度、周知方法を課題とする。

3. 学校関係者委員会による総評

昨年度の結果を踏まえて、改善に向けて取り組まれている事が確認できた。今後もさらに検討を重ねられ、より質の高い教育が実践されることを期待する。教職員の自己点検・自己評価の評価者についての回答率が62.5%と低いことが課題である。質の高い看護師を養成していく責任と義務を果たすためには、全職員共通認識のもと実施できるよう取り組む必要がある。

4.

I. 教育理念・目的・育成人材像 （評価3.6）

・カリキュラム改正に伴い、全学生に対しアドミッション・カリキュラム・ディプロマポリシーの説明など、周知への工夫がされていることは評価できる。しかし、3つのポリシーについて、19%の学生が「あまりそう思わない」と回答していることから、その理由等を明確にしていく必要がある。

II. 学校運営 （評価3.3）

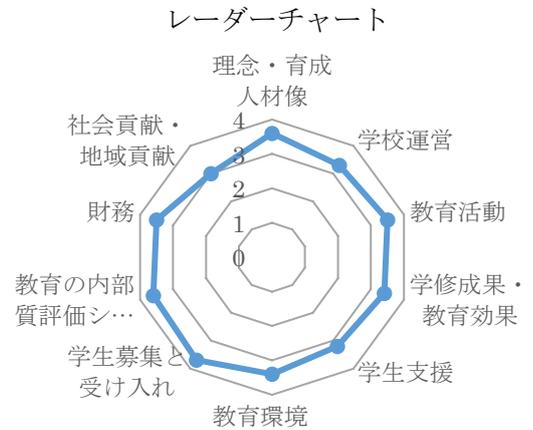
・学校運営に関する評価の細目で、運営方針を教職員に周知しているか(3.2)、運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか(3.4)、学校の年間スケジュールはあるか(3.2)と他と比較すると低い値となっている。また、教職員の評価・育成の細目である「教育の成果に基づく教員面接を実施しているか(2.7)」はかなり低い値である。

III. 教育活動 （評価3.5）

・今後の引き続き、自己評価結果や学生からの授業評価結果を集計し、その結果を共有し、教授学習過程に活かして頂きたい。
・領域の研究授業を行い、意見交換の場があるとなおよい。

IV. 学修成果・教育効果 （評価3.4）

・令和5年第112回の国家試験合格率96.4%と素晴らしい成果を出している。
・新人看護職員の教育については就業先による格差が大きいといえる。ぜひ、退職した卒業生の支援をお願いしたい。



V. 学生支援 (評価 3.2)

- ・就業に関する体制、学生相談に関する体制、経済的支援の体制など、学生に寄り添う姿勢が見て取れる。
- ・休学している学生ができる限り復学できるよう支援の強化をお願いしたい。

VI. 教育環境 (評価 3.4)

- ・特段なし。

VII. 学生募集と受け入れ (評価 3.7)

- ・受験者減少が気になるところではあるが、ぐしかわ看護専門学校ならではの取り組みに期待したい。

VIII. 教育の内部質評価システム (評価 3.6)

- ・教職員の自己点検・自己評価の評価者についての回答率が 62.5%であり、前回の 86%を大きく下回っている。質の高い看護師を養成していく責任と義務を果たすためには、全職員共通認識のもと実施できるよう取り組む必要がある。また、職員全員が参加できるような見直しが必要である。

IX. 財務 (評価 3.5)

- ・特段なし。

X. 社会貢献・地域貢献 (評価 3.0)

- ・コロナ禍で活動が制限され、地域との関わりを持つには正直厳しい状況にあると思われるが、総合学習・出前講座も含め、地域との交流の場は学校の取組みを紹介する絶好の機会でもあるため、感染対策を施したうえで、積極的に取り組まれることを期待する。